

たなぼた

シリーズ～チェンジ～ 2016/6/5

# 泣きっ面に蜂

泣いてむくんでいる顔をさらに蜂が刺すということから、不運や不幸なことの上に、さらに不幸が重なることをいう。

- 飢饉に遭い、モアブに逃げたナオミ一家
  - 自分の土地を捨て、外国に逃げた
  - 主の庇護(ひご)のもとから離れたということ
- すぐに夫を失うが、2人の息子に嫁をもらった
  - 「一人はオルパ、もう一人はルツといった」
  - 旧約聖書では、異邦人との結婚は禁じられている
- 10年間モアブに暮らし、2人の息子も死んだ
  - ナオミはモアブ人の2人の嫁と共に残された
  - 不幸が重なった原因はナオミにある？

# ついてきた嫁,ルツ

- ナオミはユダヤに戻る決心をする
  - ▣ カッコ悪い帰郷になるだろうことは予測できたが
- 2人の嫁を実家に帰そうとした
  - ▣ 「どうか主がそれぞれに新しい嫁ぎ先を与え、あなたたちが安らぎを得られますように。」1:9
- オルパは帰って行ったが,ルツは帰らなかった
  - ▣ ルツは言った。「あなたを見捨て、あなたに背を向けて帰れなどと、そんなひどいことを強いないでください。わたしは、あなたの行かれる所に行き／お泊まりになる所に泊まります。あなたの民はわたしの民／**あなたの神はわたしの神。**」1:16

# 惨めな帰国

- ナオミの変わり果てた姿は町中の話題になった
  - ▣ 「ベツレヘムに着いてみると、町中が二人のことでどよめき…」1:19
- こんなことになったのは主のせいだ、と言った
  - ▣ ナオミは言った。「どうか、ナオミ(快い)などと呼ばないで、マラ(苦い)と呼んでください。全能者がわたしをひどい目に遭わせたのです。」1:20
- どん底に差し込む光
  - ▣ 「二人がベツレヘムに着いたのは、大麦の刈り入れの始まるころであった。」1:22

# ルツ,ボアズに見初められる

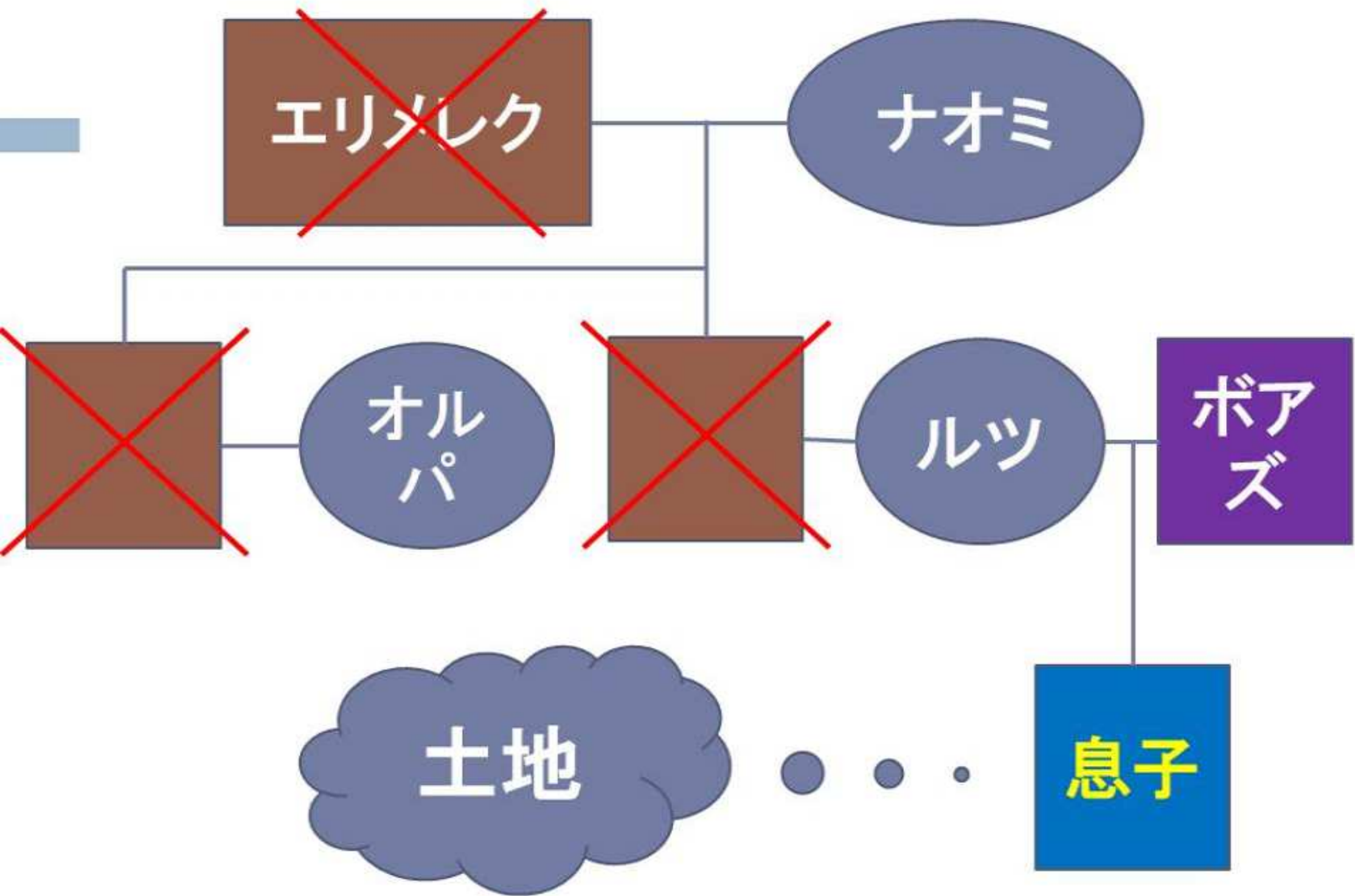
- ナオミ,ルツに**落ち穂拾い**に行かせる
  - 「畑から穀物を刈り取るときは、その畑の隅まで刈り尽くしてはならない。収穫後の落ち穂を拾い集めてはならない。貧しい者や寄留者のために残しておきなさい。」レビ記23:22
  - ナオミの夫の親戚ボアズの畑だった
- ボアズは、一生懸命働くルツの姿に好意を抱き、特別によくしてやった
  - ボアズは答えた。「主人が亡くなった後も、しゅうとめに尽くしたこと、両親と生まれ故郷を捨てて、全く見も知らぬ国に来たことなど、何もかも伝え聞いていました。」2:11
  - 一緒に食事をさせ、炒り麦を与え、使用人に、わざと穂を落とすように命じた

# 落ち穂を拾うルツ



# ナオミ,ルツをボアズに求婚させる

- ナオミは、「大麦のふるい分け」の夜,ルツをボアズのもとに行かせた
  - ルツを独り身のままにしておきたくなかった
  - 「体を洗って香油を塗り、肩掛けを羽織って麦打ち場の下って行きなさい。」3:3
- ボアズは驚いたが,ルツの気持ちを受け止めた
- ボアズはナオミの家が途絶えないように考えた
  - 子どものいない寡夫は夫の土地を相続することができないが,ナオミの息子の嫁であるルツが結婚すれば,その子がエリメレクの土地を相続できる





# ボアズ,畑とルツを手に入れる

- ボアズ,自分よりもナオミに近い親戚と交渉する
  - ▣ 縁戚関係の近い者に買い取る権利があった
- ルツも引き取ることになるが,と迫る
  - ▣ ボアズは続けた。「あなたがナオミの手から畑地を買い取るときには、亡くなった息子の妻であるモアブの婦人ルツも引き取らなければなりません。故人の名をその嗣業の土地に再興するためです。」4:5
- その親戚が断ったので,ボアズはエリメレクの畑を買い取り,ルツを妻にした

# 棚からぼた餅

開いていた口へぼた餅が落ちてきたことから  
思いがけない幸運が舞い込むことのたとえ。

- 町の女たちはナオミを祝福した
  - ▣ 女たちはナオミに言った。「主をたたえよ。主はあなたを見捨てることなく、家を絶やさぬ責任のある人を今日お与えくださいました。」4:14
- ボアズとルツとの間に生まれた子(オベド)が跡継ぎとなった
  - ▣ 「ナオミはその乳飲み子をふところに抱き上げ、養い育てた。」4:16
- オベドはエッサイの父,エッサイはダビデの父である

# 私たちもナオミと同じ「たなぼた」

- 主なる神のもとを離れすべてを失った
  - ▣ 神を呪ったこともあった
- 自分は何もしていないのに助けが起こった
  - ▣ 「神の恵みによって今日のわたしがあるのです。」  
コリントー15:10
- イエス・キリストによって**買い取られた**(贖い)
  - ▣ 「ただキリスト・イエスによる贖いの業を通して、神の恵みにより**無償で義とされる**のです。」ローマ3:24
- そればかりか神の国を受け継ぐ者とされた
  - ▣ 「あなたがたは、御国を受け継ぐという報いを主から受けることを知っています。」コロサイ3:24